

11月園だより

令和3年10月28日
October 28, 2020

園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



開園87周年を迎えて

園長 河合 晴美

本園は、10月22日に87回目となる開園記念日を迎えました。昭和9(1934)年に東京市南山幼稚園という名称で、東京都の中では33番目、港区立幼稚園の中では2番目に開園した歴史ある幼稚園となっています。当時3学級97名でスタートした幼稚園ですが、数日後には100名を超え、活気ある毎日であったことが記されています。その後、戦争で休園となった期間もありましたが、地域に親しまれ、そして地域の方に支えられ今日を迎えています。このような温かい地域の中で、幼児たちが伸び伸びと成長できることをとても嬉しく思います。

さて、開園記念日は、幼児にとって特別な日にしようと教員がアイデアを出し合い、各学年が楽しい一日になるように計画しました。

3歳児りんご組は、5歳児さくら組から「昆虫太極拳」の体操を教えてもらいました。5歳児の動きをじっと見て「カマキリ」「バッタ」・・・と同じように体を動かしてみる姿が印象的でした。また、4歳児ばら組と一緒に、つくったケーキを囲んで踊りを楽しみました。

4歳児ばら組は、5歳児と一緒に「じゃんけん宝取り」のゲームをしました。互いにタイミングを合わせながら、いろいろな組み合わせでじゃんけんをすることを楽しんでいました。

5歳児さくら組は、5年生が体育発表会で行う「光の鼓舞」を見せてもらいました。踊りの雰囲気や動きに圧倒されていた様子でしたが、保育室に帰ってくると言葉や動きをすぐに真似していく姿があり、その感動が伝わりました。また、造った味噌で味わう味噌汁が格別のおいしさだったこと、みんなで探した87枚のハート探し等、特別な日として思い出に残る一日となりました。一日の最後に誕生日の記念として披露した5歳児のパラバルーンでは、気持ちを一つにして取り組むことができ、見ていた3、4歳児、そして保護者の皆さまからの大きな拍手で包まれました。そして、その場にいるみんなが笑顔いっぱいになりました。

南山幼稚園は、昔も今も、アットホームで温かい雰囲気に包まれています。その歴史に深く感謝するとともに、豊かな環境の中で、これからも皆さまの支援にこたえながら、子どもたちの未来につながる教育活動のために、最善を尽くしていきたいと思っております。



<5年生の表現を見る5歳児>



<5歳児のパラバルーン>